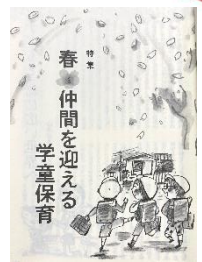


今月の特集

春 仲間を迎える学童保育



- | | | |
|-------|---------------------------------|--------|
| P 1 0 | 子どもたちと一緒に広い世界へ | 山中 冴子 |
| P 1 2 | ようこそ学童へ！泥だんごのような
ピカピカな子ども時代を | 代田 盛一郎 |
| P 1 4 | 子どもたちの育つ力を信じて | 堤 裕子 |
| P 1 8 | どの子も安心して過ごせる場所になるように | 喜村 祐之 |
| P 2 3 | 少しずつ成長していく息子たちと共に | 宮下 由紀 |
| P 2 6 | 共に育ちあう学童保育と出会って | 小森 咲紀恵 |
| P 2 9 | 春 ようこそ学童保育へ!! | 編集部 |



P46新連載【講座】 子どももおとなもステキになれる学童保育 ステキな思い出のプレゼント 近藤 直子

小学生にとって学童保育はどういう場なのか。保護者の就労保障のためというだけではないその意味は...

今回は、どうしても「学習面」が気になるけれど、小学生のこころの育ちを大切に、小学生ならではのステキな体験をお話していただいています。時代のせいにはありませんが、子どもたちの生活しにくい日常になっていっているような気がします。何が大切か思いだせていただけるようなステキな内容です。

是非読んでみて下さい。



第58回 全国学童保育研究集会まで あと234日

「ぜんこくけん」ってなんですか？

「ぜんこくけん」とは、「全国学童保育研究集会」（主催・全国学童保育連絡協議会。以下、全国研）の通称です。保護者、指導員、運営者や自治体職員、研究者の方々などが一堂に会し、1年に1回、2日間にわたって交流し、共に学びあう研究集会です。

全国研は、「広く一般に開かれた研究集会」「参加者一人ひとりが主役の研究集会」であり、「学童保育の当事者の切実な願いのもとづいて開かれる、当事者の研究集会」であることを大切にしてきました。そして、全国研で得られる“元気の素”が学童保育の内容や施策を改善する力の源にもなってきました。

コロナ禍でも、学童保育・指導員は多くの子ども・保護者の心のよりどころとなり、学童保育が社会の機能を維持するための事業であるとの認識が社会的に広まりました。しかし同時に、学童保育の制度の脆弱性もあらためて明らかになりました。2020年の第55回全国研は感染状況を鑑み、残念ながら中止としたものの、2021年の第56回、2022年の第57回全国研は、学童保育の制度のさらなる拡充と、私たちの取り組みの課題を確かめようと、オンラインを活用して開催しました。

そして2023年の第58回全国研は、オンラインの活用とともに、対面参加の会場も用意します。ぜひ会場にも集まって、これまで全国研で大切にしてきた「参加者同士の交流」も含めた主体的な学びの場を!!そんな思いで準備を進めています。

2023年11月4日(土) 全体会 パルテノン多摩(東京都多摩市)
オンライン配信あり

2023年11月5日(日) 分科会 全体会会場近郊の会場を準備中
(分科会により、会場開催とオンライン開催に分けて実施)

「日本の学童ほいく」誌は、日本中の選抜された保護者、指導員、学童保育所研究者の方々との編集会議をもとに、学童保育に特化して構成して作られた唯一の月刊誌です。

福岡県連協は、この月刊誌を是非たくさんの方々に読んでいただきたいと思い、見どころ【ひらいてみちゃりい】を配信することにしました。

毎月担当を変えて、それぞれの視点から見どころを紹介していきますので、是非購読申し込みをお待ちしております。

申し込み先：福岡県学童連絡協議会

TEL：093-662-6000

FAX：093-662-6006

